

【児童生徒の皆さんへのメッセージ】

「かけがえのないあなたたちへ」

「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻」から2か月以上がたちます。その間、多くのウクライナ国民のかけがえのない命と暮らしが脅かされ、連日のニュースからは現実に起きていることとは信じたくないような映像が流れてきています。この軍事侵攻にまだ終わりは見えません。

いかなる理由があろうとも、ある日突然、隣の国に侵攻し、軍事力でもって現状を変えてしまおうとする行為は到底許されるものではありません。

新聞紙上で、皆さんの先輩である高校生が「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻」について感じたことや考えたことをまとめた投稿文を目にすることが、最近多くなってきました。今起きていることに自分事として向き合い、自分の意見を持つことはとても大切なことです。

児童生徒の皆さんも、あなたたちが大人になっていく間に多くのことを学び、世界や私たちの国、社会の問題が、あなたたちの目にやがてははっきりと映るようになります。そして、次の時代の創り手であるあなたたちがその問題を解決していく番となります。人間の歴史や社会は、そうしたバトンを受け継ぐことでつくられていきます。

私たちは、かけがえのない自分を生きています。周囲の誰かもまた、かけがえのない自分を生きています。あなたたち一人ひとり、誰も取って代わることのできないかけがえのない存在であり、それぞれが二度と繰り返すことのできない、たった一度の人生を生きています。あなたたちが、そして世界中の人々が、このような一生を幸せなものにしたいと願望するのは人としてあたりまえなことです。そのために平和は何よりも必要であり、その実現に現在も多くの人が努力しています。

皆さんは、今、小学校や中学校で何のために学んでいるのでしょうか。それは、あなたたちが、自分にも周りの多くの人たちにもあたりまえに幸せな未来が訪れる、そうした未来の創り手となれるように、「自分の頭で考え、判断し、自分の意志で行動できるようになるため」「平和で民主的な国や社会をつくることができるよう、必要な知識・技能などを身につけるため」です。

児童生徒の皆さんの中には、ウクライナで起きていることに対して「自分は何もしてあげられない」と歯がゆい思いをしている人がいるかもしれません。あなたたちが今できること。自分や周りの人たちのかけがえのなさを思い、自分や周りの人を大切にしていくこと。学校で友達や先生と多くのことを学び合い、あなたたちが大人たちからバトンを受け継ぎ、自分の番として平和で民主的な国や社会の創り手となるための準備をしっかりとしておくこと。そのことも、あなたたちが今できることのひとつであると思います。かけがえのないあなたたちの幸せな未来のために。

令和4年5月10日

鳴門市教育委員会 教育長 三浦 克彦